

「Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort (J-MICC) Study (日本多施設共同コーホート研究)による GWAS データの 2 次解析による生活習慣病及び肥満の発症要因の検討」
へご協力いただく方

(1) 研究の概要について

J-MICC (日本多施設共同コーホート研究) のゲノムデータ、血液検査データ、および質問紙データを用い、2 型糖尿病に関して、果物及び果物ジュースや社会的要因 (教育歴) との遺伝環境交互作用を明らかにする。また、オキシトシン受容体の遺伝子多型と肥満の関連や、肥満に関して睡眠習慣との遺伝環境交互作用を明らかにする。アルコール摂取量に関する遺伝子多型データを用いてアルコール摂取量と 2 型糖尿病罹患リスクとの因果関係を検証する。J-MICC の GWAS データおよび質問紙データを用い、2 型糖尿病に関する PRS 及び Genome-wide PRS により、果物及び果物ジュース、社会的要因 (教育歴、social support) の遺伝環境交互作用を明らかにする。また、OXTR の遺伝子多型と肥満の関連、肥満に関する PRS 及び Genome-wide PRS を用いた睡眠との遺伝環境交互作用を明らかにする。ALDH2、および ADH1B 遺伝子多型を用い、メンデルランダム化の手法を用いることでアルコール摂取量と 2 型糖尿病罹患リスクとの因果関係を明らかにする。

承認番号：第 M2022-113 番

研究期間：医学部遺伝子解析研究に関する倫理審査委員会承認後から (西暦) 2026 年 7 月 31 日

実施責任者：東京医科歯科大学 国際健康推進医学分野 教授 藤原武男

主たる研究機関：東京医科歯科大学 国際健康推進医学分野 教授 藤原武男

(2) 研究の意義・目的について

多数の遺伝子多型の影響を polygenic risk score (PRS) や Genome-wide polygenic risk score といった方法を用いて遺伝環境交互作用の評価を行うことで、発症予防への各種生活習慣の寄与の程度などを個人毎に検討し、疾患リスクを予測できる可能性がある。またメンデルランダム化の手法を用いることで、アルコール摂取量と生活習慣病の罹患リスクの因果関係を明らかにし、生活習慣病に対する適切なアルコール摂取量を検証できる可能性がある。

・資料・情報管理の責任者 東京医科歯科大学 国際健康推進医学分野 藤原武男

(3) 利益相反について

本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はない。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行い、承認されている。

(4) 個人情報管理の方法

研究遂行者は J-MICC 中央事務局 (名古屋大学大学院医学系研究科予防医学) でキーロック付きの解析室に置かれたインターネット接続から遮断されたコンピュータで解析を行う。解析に用いるデータは個人を特定する情報が削除されており、匿名化されている。

(5) 問い合わせ等の連絡先：

連絡先：東京医科歯科大学 国際健康推進医学分野 教授 藤原武男

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

03-5803-5190（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務係

03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することが可能である。希望の際は、上記の研究者連絡先まで連絡すること。